

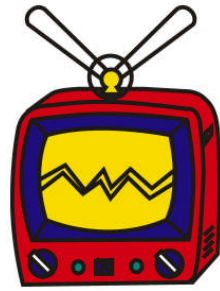
DFCほっと♪ニュース!

認知症フレンドシップクラブ函館支部発足!

これはビッグニュースです! これまで、札幌市近郊で地道に活動をすすめてきましたが、この度、函館市内で活躍されている地域包括支援センターの方からオファーがあり、函館市近郊をカバーするための支部が発足する運びとなりました。

現在は、支部立ち上げのための準備中です。これによって、道南エリアにフレンドシップクラブの活動、特にDFサポーター活動が展開されることを大いに期待しています。全道展開の第一歩をここに踏み出したのであります!

なお、胆振地区でも支部立ち上げを検討中であり、今後のドラマティックな展開を事務局はもちろん、メンバー全員で盛り上げていきましょう♪



認知症フレンドシップクラブ協賛店のご案内!

クラブの活動にご賛同いただき、メンバーの皆さまを応援して下さっている協賛店が、現在15社(店舗)あります。これらのお店では、メンバーズカードを提示することでクラブ特典がもらえます。クラブの発展を祈りつつ、ぜひこれらのお店を利用して、輪を広げていきましょう!



【協賛店】

「㈱ワールドプランニング」「Quilt Cafe Ciel」「北の海手箱 風(ふう)」「酒肴酒菜 掌(てのひら)」「和食ダイニング なかなか」「酒と肴 ぐ〜」「居酒屋 ばんらい堂」「和喰今昔生活酒家 文化食堂」「地球料理 痛快食堂」「おいしい村 月夜のためき(本店)」「おいしい村 月夜のためき(南一条店)」「やきとり PUB 一文銭」「味わい 月灯り」「大安居酒屋 日の出本舗」「やきとり ちょっと一杯」

※全店ご利用代金から10%サービス

※※「㈱ワールドプランニング」は、学会会場などでの書籍直販のみ対応

※※※クラブ特典をご利用の際は、メンバーズカードをご提示ください

現況報告(2008年9月現在)

会員数:193人、DFサポーター数:30人、認定ストア数:4社(店舗)、協賛店数:15社(店舗)

編集後記

随分と前からこの会報の発行を予定していましたが、ようやくそれが叶って安堵しています。クラブが発足して約1年半、これまでにたくさんの人たちと出会い、たくさんのお話を教えられました。人と人が出会い、つながり、支えあうことの大切さ・尊さを、認知症にかかわる活動を通して改めて実感しています。まさにそれこそが、このクラブが目指すところであり、皆さまが期待するところだと思えます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。(内ヶ島)



認知症フレンドシップクラブ事務局

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 北海道医療大学地域保健看護学講座内

Tel / Fax. 0133-23-1462 E-mail. df-club@hotmail.co.jp



認知症フレンドシップクラブ
NEWS LETTER

e-yo!

2008年秋 No.1

認知症フレンドシップクラブ事務局

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

北海道医療大学地域保健看護学講座内

tel/fax. 0133-23-1462



「Keep Nagging! (しつこいぐらいに言い続けなさい)」

認知症フレンドシップクラブ代表 井出 訓

北海道では2連のトンボが空を飛びかき、朝晩がずいぶん涼しい季節となりました。会員の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さてこの度、認知症フレンドシップクラブのニュースレター第1号が無事発行の運びとなり、名前を「e-yo (いいよ)」と名付けました。それは一つに、認知症になっても安心して暮らせる「いい世の中」になってほしいという思いを込めたかったこと、そして認知症の方々の様々な思いに対して、「いいよ」と言って寄り添える、そんなクラブにしていきたいという思いを表したかったことがあります。さらにもう一つは、かくれんぼのときの「も〜いいよ」という友達同士の掛け声を表したかったこともあります。かくれんぼをするときは、「も〜いいかい?」という投げかけに対し、「ま〜だだよ」「も〜いいよ」と声を返し、鬼が探しに来るのを待ちます。幼いころ、隠れてはいてもどこか早く見つけてもらいたい、そんな気持ちでいたことを思い出します。そうした、「早く見つけてよ、わたしはここにいるんだから」といった意味合いも、この「e-yo (いいよ)」という名前に込めたかったのです。いずれにせよ、会員の皆様に「そんな名前でもいいよ」と受け入れていただけるなら、ポツリポツリの発行になるとは思いますが、ニュースレターを通して活動状況や新しいフレンドシップストア情報などもお知らせしていきたいと考えております。

認知症フレンドシップクラブが立ち上がって約1年半がたちました。思い返せば約2年前、外出支援プログラムを学びに出かけたイギリスで実際に活動をしていたサポーターの方々に暖かく迎えていただいたことも、国を超えた「いいよ」だったんだと今更のように気づかされます。プログラム創設者のひとりであり、ご主人を認知症で亡くされたクライブ女史にお会いし、日本でもこうした活動を展開したいとお話したときに、「Keep Nagging!」と力強く言われたことも昨日の日のように思い出すことができます。Nagという言葉は、口うるさく言う、がみがみ言うなどといった意味の言葉です。つまり、「やろうと思ったら簡単にあきらめるのではなく、いつまでもしつこいぐらいにそのことを言い続けていきなさい。」というメッセージだったのだろうと解釈しています。

今年は、クラブの活動を北海道介護新聞(2008年2月7日)や北海道新聞(2008年4月23日、9月16日)、またNHK北海道ニュース(2008年7月29日)に取り上げていただきました。お陰様で、認知症フレンドシップクラブの会員数は193名、登録DFサポーター数が30名となっており、ゆっくり少しずつではありますが、ことあるごとにフレンドシップクラブの紹介と協力を訴え続けてきた甲斐あって、私たちの活動は着実にその小さな歯車を回しながら地域の中に根を下ろし始めています。会員の皆さまにはぜひとも引き続き、「いいよ」という温かなご支援とご協力とを賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



認知症フレンドシップクラブの活動報告

DFサポーター養成研修会（第2回）開催

DFサポーターとして活動して下さる方を養成する研修会を、今年4月26日(土)・27日(日)の2日間で開催しました。クラブ発足以来、2回目の開催となったこの研修会には、39人の方が参加され、そのうちの19人がDFサポーターとして新規登録されました。

その中のおひとりである覚知由美さんに、実際に活動してみて感じたことをご報告していただきました。

DFサポーター活動を経験して

DFサポーター 覚知 由美

ここ1ヵ月ほどの間に7回のサポーター活動をして、初体験への少しの緊張と和みの一時と、今後への迷いも感じました。

全て同一人へのサポートでしたので案ずるより産むが易しで、お話のなかから共に過ごす和みが生じ、別れ際に「楽しかったね。」と言葉がけして下さったことが嬉しく印象深く残っています。一方で、個人宅の独り住まいの方でしたので、利用者側とサポート側の領域が曖昧になりがちな部分をどう調整していくかが今後の課題のように思います。

いつもJRを利用するなかで、エスカレーターに乗りそびれているご老人に、少し見守った後「一緒に乗りましょうか？」と声をかけて乗ったり、幼児を乳母車に乗せたお母様が乗車する際に「持ちましょうか？」と言って頼まれたときは、半分持ってみたりします。

サポートはどのようなかたち、場合でもあります。特別な人に特別なサポートをするのではなく、少しの思いやりで同じように向き合いながら、認知症の特性を心に置いてお友達としてやっていけるなと思います。その上で、支えているご家族の方たちにも少し気持ちを楽にさせていただけるときがあるならと願っています。そして、私たちもいつ、どのような場面でそのような状況に行き合うとも限らないとも思います。



認知症フレンドシップクラブのリーフレット完成♪

クラブの活動を広く、そして、わかりやすく宣伝するために、(株)カモプランニングさんのご協力を得て、素敵なリーフレットを作成しました。DFサポーターの活動の様子や認知症フレンドシップストアの存在をPRできるような写真もバッチリ掲載されています。

今回は、メンバーの皆さまにも一部ずつ同封いたしました。皆さまのまわりでこうした活動に興味・関心をもたれている方がいらっしゃいましたら、是非、このリーフレットを活用してご紹介ください。会員1人が新規会員を1人ご紹介くだされば、あれよという間に会員数が2倍に♪活動を盛り上げるために、ぜひメンバーを増やしていきましょう！わっせ♪わっせ♪



認知症フレンドシップストアのご紹介

認知症の人やご家族が、気兼ねすることなく安心して利用できる“認知症バリアフリー”を目指す店舗を、認知症フレンドシップストアとして認定しています。認定を受けた店舗は、クラブのホームページ上のブログで紹介していますが、今回、改めてここでご紹介いたします。

まどべカフェ すとんぷ (札幌市豊平区月寒東3条7丁目1-6 TEL: 011-856-5145)

Jazz が流れるすとんぷさんは、住宅街にあって、グループホームに併設されたお店です。素敵な姉妹が美味しいランチとコーヒーで出迎えてくれます。店内にはピアノがあり、定期的にピアノ教室も開かれているとか。ぜひ一度足を運んでみてください。

【クラブ特典】ランチをご注文いただいた方に特製ミニデザートをサービス



創作どら焼き ふくらか (本店：札幌市西区発寒3条5丁目6-1 TEL: 011-668-8808)

ふくらか(福楽果)さんのどら焼は種類豊富でどれを買うか迷ってしまうくらい。爆発的な人気で市内5店舗、新千歳空港内に1店舗を構えています。お土産としてもとっても重宝します！本店と琴似店(西区琴似1条3丁目3-12しなねビル1F)が認定ストアです。

【クラブ特典】千円以上お買い上げで「黒糖」か「もちもち」を1個サービス



活かに水産市場 いなば食品 (函館市若松町9-14 どんぶり横丁内 TEL: 0138-22-4585)

鮮魚・水産加工品を広く取り扱ういなば食品さんは、昭和22年創業の老舗。函館朝市での店頭販売はもちろん、インターネット通販もできるので、ご自宅用・ご贈答用など親身に相談にのってもらえます。井出代表もお気に入りです。(http://www.inaba-store.com/)

【クラブ特典】お買い上げ金額から10%引きサービス



Farm 弦 (長沼町東1線北13 TEL: 090-6692-9849)

北長沼でトマト農園を家族経営しているFarm弦さん。優しいオーナーと素敵なお家族によって大切に育てられているトマトは、なんと20種類以上！そして、あることをすれば入園料無料&トマト食べ放題に！ぜひ、友人・家族を連れ立って遊びに行きましょう。

【クラブ特典】小さな袋にトマト詰め放題のお持ち帰りサービス



※クラブ特典をご利用の際は、メンバーズカードをご提示ください